

不妊治療と仕事の両立のために

～働きながら治療を受ける従業員への理解を～

不妊治療を経験した方のうち26.1%の方が、不妊治療と仕事を両立できずに離職したり、雇用形態を変えたり、不妊治療をやめたりしています。不妊治療に関する支援制度を実施している企業は、約3割と少ない状況です。働きながら安心して妊娠・出産を実現できるよう、不妊治療について職場環境の整備と皆さんのご理解が求められています。

不妊治療について

近年、不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦は約4.4組に1組、不妊治療(生殖補助医療等)で誕生する子どもは約10人に1人と年々その割合は高まっており、不妊治療を受ける人は増加傾向にあります。また、WHO(世界保健機関)によれば、不妊の原因は約半数が男性にあるといわれており、男女ともに治療が必要な場合もあります。

不妊治療は、妊娠・出産まで、あるいは、治療をやめる決断をするまで続きます。また、長期の治療となる場合があるため、身体的・精神的にも大きな負担を伴います。

問 こども子育てサポートセンター

☎ 0942-30-9731 ☎ 0942-30-9718

✉ kokosapo@city.kurume.lg.jp

企業への支援制度

不妊治療を受ける従業員が安心して職場環境を整えることによって、優秀な人材の確保や定着、従業員のモチベーションの向上などにつながります。そのため、不妊治療と仕事の両立支援制度導入に関する「不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル」や、中小企業事業主を支援する助成金制度として「両立支援等助成金」がありますのでご活用ください。



久留米市にお住いの30代女性への支援制度

久留米市では、卵巣の中に卵子がどれくらい残っているかを調べる「AMH検査」の費用を一部助成します。



相談

従業員の心身のケアを目指して

心身の疲れを感じたら、まずはセルフチェックを

仕事や家事、子育てなど、何とか日常生活は送れるけど、疲れが抜けず、毎日をこなすだけで精一杯。そんな状態が続いていませんか? その状態を放っておくと、本格的な心身の不調につながってしまうこともあります。従業員の健康保持・増進のため、こころのセルフチェックを活用してみませんか?

こころのセルフチェック

心も体も良好な状態を保ち続けるためには、自分の状態に意識を向け必要なケアを実施することが大切です。まずは「こころのセルフチェック」でこころの健康状態をチェックしましょう。



不調を感じたときに職場ですぐできるセルフケア

仕事でミスをした時や、職場の人間関係で疲れた時など、しんどいな、つらいな、不安だなと感じることはありませんか? そんなときに、手軽にできるセルフケアを紹介しています。



困ったときは誰かに相談を

調子が悪いなと思ったら、一人で悩まず、信頼できる人や専門家に相談してみることも大切です。

詳しくは久留米市公式HPをご覧ください。保健予防課までお問い合わせください。



問 久留米市保健所 保健予防課

☎ 0942-30-9728 ☎ 0942-30-9833

✉ ho-yobou@city.kurume.lg.jp